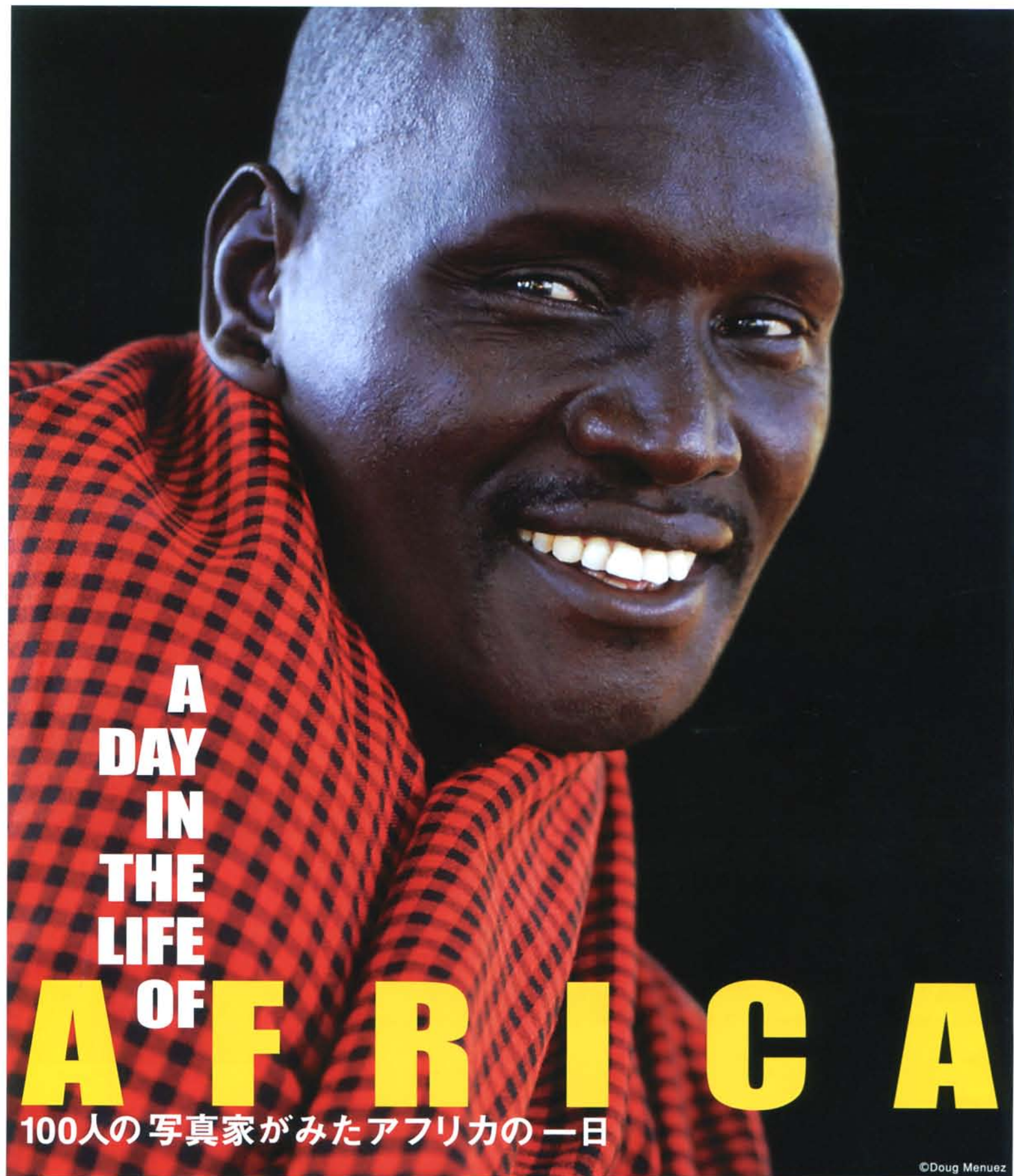




©Doug Menez

東京都写真美術館 3F展示室 会期：2003年6月14日(土)～7月13日(日) 月曜日休館
開館時間：10:00～18:00(木・金は20:00まで/入館は閉館の30分前まで)

料金：一般 500(400)円 学生 400(320)円 65歳以上/中高生 250(200)円 ()内は20名以上の団体料金
(小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料/第3水曜日は65歳以上無料/東京都写真美術館友の会会員の方は無料)

本写真展の収益は全額、アフリカのエイズ教育プログラム基金に利用されます

主催者問い合わせ先：オリンパス光学工業株式会社 TEL：03-3340-2111(9:00～17:00) http://www.olympus.co.jp
主催：オリンパス光学工業株式会社 共催：東京都写真美術館 後援：外務省 国連開発計画(UNDP) 社団法人日本写真家協会 社団法人日本写真協会 協賛：世界銀行

OLYMPUS
Your Vision, Our Future



A DAY IN THE LIFE OF AFRICA

100人の写真家がみたアフリカの日

史上最大のスケールで鮮やかに記録された、21世紀のアフリカ大陸

2002年2月28日のことだった。日本人2名を含む約100名の世界的な報道写真家の手によって、24時間でアフリカ大陸を丸ごと写真に収める、そんな壮大な企画が試みられたのは。

人であふれかえるマラケシュの市場から、風が吹きすさぶナミビアの砂漠まで。写真家たちはアフリカのさまざまな場所に立っていた。ルワンダのマウンテンゴリラ、ニジェールのスルタンの宮殿、ヒップなラゴスの音楽シーン、静寂と威厳に包まれたザンビアのAIDSホスピス。彼らはアフリカ全域の家庭、学校、職場に赴き、1日の間に繰り広げられるアフリカの生活をありのままに切り取って、鮮やかなタペストリーを織りあげたのである。

撮影の成果は、288ページに及ぶ一冊の写真集にまとめられた。タイトルは「A Day in the Life of Africa (アフリカのある一日)」。これは約20年間にわたり、世界各国の文化を記録してきたベストセラー写真集、「A Day in the Life」シリーズの最新作にあたる。これまでに、アメリカ、中国、ロシア、日本などを舞台として13冊が出版されており、現在までに全世界でのべ350万部以上がセールスされ

ている。今回のプロジェクトは、オリンパスの提供した機材により、初めてデジタルカメラによる全面的な撮影が実現したことで話題になった。ピューリッツァー賞受賞者や、マグナムなどの有名フォトエージェンシーに所属する写真家も多く参加しており、作品としての質の高さも評価されている。プロジェクトディレクターを、シリーズの11作品を手がけたサンフランシスコ在住のデビッド・コーエン氏が務め、リー・リバーマン氏がオーストラリアのメルボルンからプロデューサーとして参加した。この写真展では、写真集に未収録の作品を含む約250点が、一挙に公開される。これらの写真を通じて、人々、地形、風習など、信じがたいほどの多様性に満ちたアフリカの姿が、改めて見えてくるだろう。なお、今回のプロジェクトは、子供を含めHIV陽性の男女が2千500万人を超え、現在も1分間に2人の割合で感染者が増えているという、アフリカ大陸の危機的状況に対する問題意識を高めることを主な目的としている。プロジェクト全体を通じて得られた利益は全額、アフリカのエイズ教育プログラム基金に利用されている。

この写真を通して、どうか見だしていただきたい。豊かな文化と自然の美に恵まれたアフリカの姿を。植民地時代の圧制がもたらしたさまざまな苦難を乗り越え、抗しがたい公衆衛生問題にあえぎながらも、民主主義と民族自決を求めてやまないアフリカを。不屈の精神をもって、国際社会の中で参画の場を広げ、地域社会と協力に関する独自の感覚を世界に向けて発信するアフリカを。

ノーベル平和賞受賞者 デズモンド・ムビロ・ツツ大司教 (写真集「A DAY IN THE LIFE OF AFRICA」より抜粋)

美しく、深い感動を呼ぶこれらの写真は、アフリカ各地で人々を苦しめる悲劇は起きているが、そこには忘れてはならない明るい出来事もあり、見過ごしてはいけないさまざまな成果もあるのだということを我々に気づかせてくれる。アフリカの人々の大部分は自分たちの国をプラスの方向に変えていこうと懸命に努力しており、そうした彼らの努力は多くの地域で実を結び始めている。

ノーベル平和賞受賞者 国連事務総長 コフィ・A・アナン (写真集「A DAY IN THE LIFE OF AFRICA」より抜粋)

参加写真家

Jeffrey Aaronson, Abbas, Yann Arthus-Bertrand, Kristen Ashburn, Jane Evelyn Atwood, Bruno Barbey, Anthony Barboza, Nadia Benchallal, Nina Berman, Peter Bialobrzewski, Jodi Bieber, Alexandra Boulat, Paul Chesley, Stéphane Compoint, Seamus Conlan, Jean-Claude Coutausse, Anne Day, Xavier Desmier, Jay Dickman, Quintilhan dos Santos, George Esiri, Frank Fournier, Mariella Furrer, Paul Fusco, Tim Georgeson, Kevin T. Gilbert, Liz Gilbert, Diego Goldberg, Mark Greenberg, Stanley Greene, C.W. Griffin, Lori Grinker, Louise Gubb, Benoit Gysembergh, Themba Hadebe, Ron Haviv, Robert Holmes, Françoise Huguer, Taiji Igarashi, John Isaac, Fanie Jason, Alexander Joe, Ed Kashi, Nick Kelsh, Douglas Kirkland, Gary Knight, Antonin Kratochvil, Joachim Ladefoged, François Lagarde, Daniel Lainé, Andre Lambertson, Michael S. Lewis, Kim Ludbrook, Gerd Ludwig, Pascal Maitre, Alex Majoli, Jean-Luc Manaud, Greg Marinovich, James Marshall, Victor Matom, Dilip Mehta, Susan Meiselas, Pierrot Men, Gideon Mendel, Doug Menez, Pedro Meyer, Yoshiko Murakami, James Nachtwey, Claude Pavard, Pierre Perrin, Per-Anders Pettersson, Larry C. Price, Noël Quidu, Chris Rainier, Eli Reed, Leslie Reti, Patrick Robert, Sebastião Salgado, Jeffery Allan Salter, Lougue Issoufou Sanogo, Emmanuel T. Santos, Jeffrey Henson Scales, John Stanmeyer, Chris Steele-Perkins, George Steinmetz, Tom Stoddart, Djibril Sy, Guy Tillim, David Turnley, Peter Turnley, Laurent Van der Stockt, Lori Waselchuk, Patrick Zachmann, Hocine Zaourar, Francesco Zizola



John Isaac / チャド



五十嵐 太二 / タンザニア



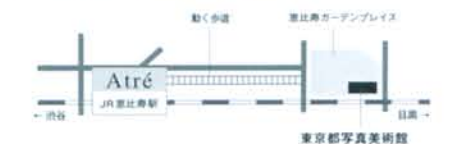
Larry C. Price / ウガンダ



Tom Stoddart / ザンビア

東京都写真美術館

(恵比寿ガーデンプレイス内)
TEL: 03-3280-0099
URL: http://www.syabi.com



OLYMPUS

オリンパス光学工業株式会社

主催者問い合わせ先：03-3340-2111(9:00～17:00)